

令和4事業年度

決 算 報 告 書

自：令和 4年4月 1日

至：令和 5年3月31日

国立大学法人神戸大学

令和4年度 決算報告書

国立大学法人神戸大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	20,774	20,875	101	(注1)
施設整備費補助金	1,744	1,597	△148	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	1,513	4,853	3,341	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	24	24	-	
自己収入	49,682	47,385	△2,297	
授業料、入学料及び検定料収入	9,286	8,901	△385	(注4)
附属病院収入	39,563	37,491	△2,071	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	833	992	159	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	9,091	13,329	4,238	(注7)
引当金取崩	-	466	466	(注8)
長期借入金収入	1,857	1,455	△401	(注9)
貸付回収金	1	2	1	
目的積立金取崩	197	327	130	(注10)
引当特定資産取崩	-	-	-	
計	84,882	90,313	5,431	
支出				
業務費	68,338	64,914	△3,424	
教育研究経費	30,408	29,043	△1,365	(注11)
診療経費	37,930	35,871	△2,059	(注12)
施設整備費	3,625	3,076	△549	(注13)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	1,196	4,500	3,304	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	9,091	10,198	1,107	(注15)
貸付金	0	2	1	
長期借入金償還金	2,632	2,614	△18	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	84,882	85,304	422	
収入－支出	-	5,009	5,009	

※項目ごとに四捨五入を行なっているため、計及び差額が合致しない場合があります。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職給付金の追加交付84百万円があったこと等により、予算額に比して決算額が101百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、一部の事業において翌事業年度繰越が発生したことにより、予算額に比して決算額が148百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、補助金の新規採択等が見込額を上回ったことにより、予算額に比して決算額が3,341百万円多額となっています。なお、決算額には授業料等減免費交付金が354百万円が含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料、入学料及び検定料の収納額が見込額を下回ったことにより、予算額に比して決算額が385百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、新型コロナウイルス感染症の影響による稼働状況の低下により、予算額に比して決算額が2,071百万円少額となっています。
- (注6) 雑収入については、学校財産の貸付などの雑収入が見込額を上回ったことにより、予算額に比して決算額が159百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたことに加え、前期繰越額のうち、当期に使用した額を含めて計上していることにより、予算額に比して決算額が4,238百万円多額となっています。なお、決算額には前年度からの繰越金2,155百万円を含んでおります。
- (注8) 引当金取崩については、賞与引当金417百万円及び退職給付引当金50百万円を取り崩したことにより、予算額に比して決算額が466百万円多額となっています。

- (注 9) 長期借入金収入については、一部の事業において翌事業年度繰越と不用額が発生したことにより、予算額に比して決算額が401百万円少額となっています。
- (注10) 目的積立金取崩については、退職手当126百万円等を取り崩したことにより、予算額に比して決算額が130百万円多額となっています。
- (注11) 教育研究経費については、人件費の執行が見込額を下回ったこと、また(注4)に示した理由により、予算額に比して決算額が1,365百万円少額となっています。
- (注12) 診療経費については、医薬品費および材料費の増加があったものの、一部が新型コロナウイルス感染症対応補助金による執行に移り、診療に関する物件費の執行が見込額を下回った理由により、予算額に比して決算額が2,059百万円少額となっています。
- (注13) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が549百万円少額となっています。
- (注14) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が3,304百万円多額となっています。
- (注15) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、受託研究費等での執行が見込額を上回ったこと、また(注7)に示した理由により、予算額に比して決算額が1,107百万円多額となっています。